

# SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	項目	具体的な取組	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・外国人職員の採用 (令和4年4月)タイ国籍職員1名を採用し総務部長が窓口となり教育、相談に応じている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・「北海道働き方改革推進企業認定制度」取得 ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・安全大会で「ハラスメント」教育を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・所定外労働、月45時間、年間500時間を目標に取り組んでいる ・時間単位での有給休暇取得を実施 ・週休二日制の実施に積極的に取組む								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人職員の採用 (令和4年4月)タイ国籍職員1名採用・技術職 ・工事部長が定期的に面談を実施			4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・店社安全衛生委員会(1回/月)を実施 ・稚内、利尻の安全パトロール(1回/月)実施 ・稚内、利尻の現場巡視(3回/月)を実施 ・稚内、利尻の経営者パトロール実施(3回/年)			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・厚生省準拠の「ストレスチェック(外部委託)」のなかでメンタルヘルスを実施している ・社内メンタル専門員を配置(相談窓口) ・社内交流会の実施(年2回)			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・「エイジフレンドリー計画」の推進 ・令和4年8月現在、3名の障がい者を雇用している ・担当部長が女性職員の相談に応じている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・各種免許取得者の更新時研修経費の補助 ・外部講師による管理職研修の実施 ・職務に応じた外部研修の受講を実施 ・各現場の「安全教育(1回/月)」の実施			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・「働き方改革推進会議」の実施 ・季節雇用から通年雇用への移行促進					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・「健康経営優良法人認定制度」取得 ・外部講師によるセミナー(1回/年)の実施 ・全社員の健康診断(1回/年)の実施			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・各現場のゴミの分別の徹底とリサイクルの推進 ・リサイクルコピー用紙の使用と両面使用 ・廃材削減、やり直し無駄削減、廃棄物発生抑制 ・紙ベース管理を電子データ管理へ移行										11.6 12.4 12.5		14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					

カテゴリー	項目	具体的な取組	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・ 蛍光灯を通常タイプから、LED、省エネタイプへ移行								7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・ データシート、リスクアセスメントに取りまとめている			3.9			6.3					11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 低騒音型機械を使用し周辺環境への配慮を徹底 ・ 防塵処理(養生)を徹底し粉じん飛散の防止を図る ・ 海の工事は汚濁防止フェンスを設置し濁水流出を防止						6.6								15			
	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 河川・橋梁工事では、浄化装置を設置し濁水を浄化流出 ・ 流出水のpHを測定し水の品質を管理						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 自社ホームページで取組みを紹介(植栽等)											12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ ソーラーパネルの電気を、工事灯、交通規制看板に使用している							7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ 現場事務所に間伐材を使用した掲示板を使用 ・ 再生紙の積極的利用を図る											12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ 現場の使用資材は、提出された「品質証明書」を確認し発注者の了承を得たうえで、品質・安全を確保している			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 共通仕様書の管理基準より厳しい自社の管理基準を設けることで品質の精度を高めている ・ 月1回開催の「工程会議」において各現場の品質管理の課題を整理している									9								
	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 現場では、極力、プレキャスト製品を使用することとし、防波堤工事においてもプレキャスト型枠で施工を行った						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域音	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 交通安全協会主催「セイフティラリー」へ毎年参加 ・ 現場周辺の住民、関係者と良好な関係をつくり、看板やバリケードは街並みにあった景観を保持するよう配慮				4						9	11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 「宗谷ふれあい公園:パークゴルフ場」の清掃奉仕活動を毎年実施 ・ 利尻島車道沿に毎年「2,000株の花の植栽」を実施 ・ 「海岸グリーン作戦(稚内市)」へ毎年参加				4							11			14	15		17

